

錦秋の一日、清々しい空気の高原でリフレッシュ！ イヤホンガイドをお1人様に1個ご用意！

南アルプス北端の自然の宝庫・湿原満喫と、通常非公開の犬養毅の別荘見学、そして湿原を代表する貴重植物で絶滅危惧種「釜無ホテイアツモリソウ」のミニレクチャーも！



生活クラブ
スタッフ
提案の旅
伊藤 望 企画

にゅうかさやま にゅうかさしづげん

錦秋の一日、入笠山・入笠湿原ウォーキングと貴重植物ミニレクチャー、そして犬養毅の別荘「白林荘」(※通常非公開)見学

長野県富士見町と伊那市にまたがる『花の宝庫』入笠山は南アルプス(赤石山脈)北端に位置し、四季折々の花々や手付かずの自然を満喫できる自然の宝庫です。富士見パノラマリゾート(スキー場)の8人乗りゴンドラに乗り15分(2.5km)、標高1050mの山麓駅から一挙に標高1780mの山頂駅へ降り立ち、そこからは入笠山山麓に広がる自然の宝庫・入笠湿原(標高1734m・面積1.85haの高層湿原)へは誰でも簡単にウォーキングを楽しむことができます(1周1時間程度)。高原なのでツアーの時期、高山植物の花々はもう咲いていませんが、周りを覆う森の木々は例年ならちょうど紅葉の盛りの頃に当たります。ガイドさんの説明を聞きながら清々しい

空気の中ウォーキングをゆったりと楽しみ、昼食も雨が降っていないければ湿原内でお弁当をいただきます。

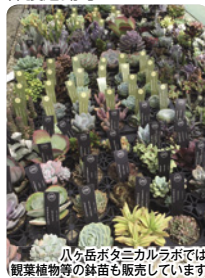


入笠山山麓に広がる自然の宝庫・入笠湿原



高原の中、色づくカラマツ

昼食後はゴンドラで山麓駅に戻り、すぐ近くにある犬養毅の別荘「白林荘」を見学します。昭和7年の五・一五事件に斃れた時の宰相・犬養毅が大正13年、余生を過ごそうとよく愛した富士見町に建てた別荘で、「白林荘」の名前は特に好きだった白樺に由来し、一万坪の手入れの行き届いた荘内では新緑、紅葉が美しく映えます。なお白林荘は通常非公開ですが、今回のツアーに合わせて特別に公開していただけることになりました！ 見学後、やはり近隣にある「ハケ岳ボタニカルラボ」に立ち寄り、セミナー室にて入笠湿原や湿原を代表する貴重植物で絶滅危惧種の高山植物「釜無ホテイアツモリソウ」の保護活動等についてのミニレクチャーを聞き、施設内を見学します。その後は



ハケ岳ボタニカルラボでは観葉植物等の鉢苗も販売しています



紅葉が映える犬養毅の別荘「白林荘」

帰路、山梨の農産物や果物、自家製パン等が充実していることで人気がある中央道・ハケ岳PAに立寄って東京へ戻ります。ツアーでは「非3密対策」のため1人に1つ「イヤホンガイド」をご用意し、またバス車内ではアルコール除菌はもちろん、座席を1人につき2席確保し、皆さまが安心してご参加いただけるよう配慮しています。ぜひ錦秋の一日、高原ウォーキングでリフレッシュしてください！



入笠山の紅葉の中を登るゴンドラ

旅行日		2020年10月29日(木)・30日(金)	
旅行代金 東京都在住の方		お支払い実額 東京都以外に在住の方	
(お一人様) 19,400円		(お一人様) 12,610円	
		旅行代金への支援額 6,790円 地域共通クーポン 3,000円	
募集人員		20名様(最少催行人員15名様)	

7:30新宿駅西口→貸切バス→首都高・中央道→諏訪南IC→11:00富士見パノラマリゾート・ゴンドラ山麓駅→山頂駅→11:30ガイドさんの説明を聞きながら入笠湿原をウォーキング※途中、湿原内で弁当の昼食(雨天時を除く)→13:00山頂駅→山麓駅→13:30犬養毅の別荘「白林荘」見学→14:20ハケ岳ボタニカルラボ内セミナー室にてミニレクチャー→諏訪南IC→中央道・首都高→15:30山梨の農産物や果物、自家製パン等が充実しているハケ岳PAに立寄り→【日没17:00頃】→18:30頃 新宿駅着

■添乗員/同行してお世話します。 ■食事/昼食1回(弁当)
■集合場所/新宿駅西口 ■集合時間/午前7時30分出発
■交通機関/大型貸切バス(※1名様2席利用/予定運行会社:アルモニア 同等)

※雨天決行・荒天中止

※このコースのGoToトラベルキャンペーンに関するご案内・条件等は、本カタログ4頁・下部のGoToトラベルキャンペーンのご案内枠の中に掲載してあります。

※本ツアーでは入笠山登山はいたしません。また靴はウォーキングシューズ・スニーカー等で結構です。高原ですので雨天・強風等の場合は気温が下がる場合もありますので、念のため各自防寒用のウィンドブレーカー、薄手のダウンジャケット等のご持参をお勧めします。